国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

事業概要 2024

道と、未来と、人をつなぐ





道と、未来と、人をつなぐ

CONTENTS

03 新潟国道事務所の概要

05 暮らしを支える道をつくります

13 より安全で便利な道になおします

18 24 時間 365 日、道路を守ります

22 みなさんと一緒に地域を盛り上げます

26 管内図

つなぐこと。これが私たちの仕事です。

ふだん、皆さまが使っている道路が、いつでも安全、快適、便利なように
作り、直し、つないでいくこと。
人とまち、人とくらし、人とひとがふれあい、にぎわい、刺激しあうように
活動し、開催し、つないでいくこと。
私たちの愛するこの土地の歴史、文化、伝統の火を消さないように
守り、伝え、未来につないでいくこと。
そのために私たちは、道路事業を進めています。

新潟県の人口の6割が集中する下越地方と、政令指定都市・新潟市。
ここには、全国第2位の交通量を誇る新潟バイパスをはじめ
国道7号、8号、49号、113号、116号、あわせて約241kmの道路があります。
信濃川にかかる萬代橋（ばんだいばし）は、国の重要文化財に指定されています。

こうした道や橋を雨の日も雪の日も、
安全、安心、スムーズに走れるように、暮らしにもっと役立つように
道路の調査・計画、改築修繕、維持管理に努めています。

道と、未来と、人をつなぐ。
私たちは新潟国道事務所です。

HISTORY

昭和35年 4月　建設省新潟国道工事事務所設置
昭和60年12月　国道8号 新潟バイパス6車線全線開通
昭和63年11月　国道7号 豊栄パーキングエリアが道路情報業務を含めオープン（一般国道では全国初）
平成元年 3月　国道116号 新潟西バイパス小新IC～新潟西IC間4車線概成開通（北陸地建管内初の自動車専用道路）
9月　国道7号 新新バイパス全線開通・同競馬場IC～東港IC間4車線開通
平成 9年12月　国道7号 万代クロッシング完成
平成14年 5月　国道7号 柳都大橋開通
平成15年12月　国道8号 三条拡幅4車線全線開通
平成16年 3月　国道49号 横雲バイパス2車線全線開通
7月　萬代橋 重要文化財指定
平成18年11月　国道49号 安田バイパス2車線全線開通
12月　国道116号 新潟西バイパス4車線全線開通、国道116号 巻バイパス2車線全線開通
平成20年 3月　国道49号 亀田バイパス4車線全線開通
平成24年 3月　新庁舎全棟にて業務開始
平成25年 3月　国道49号 揚川改良全線開通
平成31年 3月　国道8号 白根バイパス2車線全線開通

写真：国道49号新横雲橋（阿賀野市-新潟市）

新潟国道事務所の概要


新潟国道事務所 外観

国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所では、新潟県下越地方の道路交通における問題点を解決するために、新しい道路を計画・整備したり、約241kmにおよぶ区間を維持・修繕することで、皆さまの暮らしを支える業務を行っています。

■組織及び主な業務

組　織	主な業務
総　務　課	事務所の窓口、行政相談窓口
経　理　課	契約や支払いに関すること
用地第一課	国道7号・8号・49号の用地取得、補償に関すること
用地第二課	国道116号・朝日温海道路の用地取得、補償に関すること
工務第一課	道路の改築工事に関すること
工務第二課	道路の建築工事に関すること
品質確保課	品質確保に関すること、工事発注の技術審査、工事検査、新技術に関すること
計　画　課	道路の計画、道路改築事業に関すること
調　査　課	道路の調査、道の駅、総合学習、広報、交通安全施設の施策に関すること
管理第一課	道路の情報（管内国道に関する事故・異常気象など）、道路占用・請願工事、特殊車両の通行に関すること
管理第二課	交通安全施設の工事、道路の維持・修繕に関すること
防災情報課	防災、道路除雪、電気通信施設・建設機械・機械設備に関すること
維持出張所（新潟・新発田・黒埼・水原）	国道の維持管理に関すること
村上出張所	朝日温海道路の工事監督

管内の特徴

全国屈指の交通量を誇る新潟都市圏のバイパス群



■新潟国道管内における交通量ランキング
（令和3年度の平日昼間12時間）

順位	路線名（観測区間）	交通量（台/12h）	備考
1	国道8号 新潟バイパス（弁天IC～桜木IC）	9.8万台	全国2位
2	国道7号 新潟バイパス（竹尾IC～逢谷内IC）	6.8万台	全国7位
3	国道49号 亀田バイパス（姥ヶ山IC～紫竹山IC）	5.7万台	
4	国道116号 新潟西バイパス（亀貝IC～小新IC）	4.1万台	
5	国道7号 新新バイパス（蓮野IC～聖籠IC）	3.2万台	

※1路線につき各市町村1区間を対象

2m以上の積雪がある山間部（県境部）



■過去10年における
路線別最大積雪量（H26～R5年度）

国道	観測所名	最大積雪深	観測年度
7号	新潟	72cm	R2
	新発田	130cm	R2
8号	黒埼	75cm	H29
49号	福取（県境）	287cm	H26
113号	金丸（県境）	227cm	H29
116号	巻	83cm	R2

国指定重要文化財 国道7号 萬代橋



■萬代橋に関連する主なイベント

イベント名	開催日
萬代橋チューリップフェスティバル	4月中旬～下旬
新潟まつり・大民謡流し	8月
萬代橋誕生祭	8月下旬
新潟シティマラソン	10月

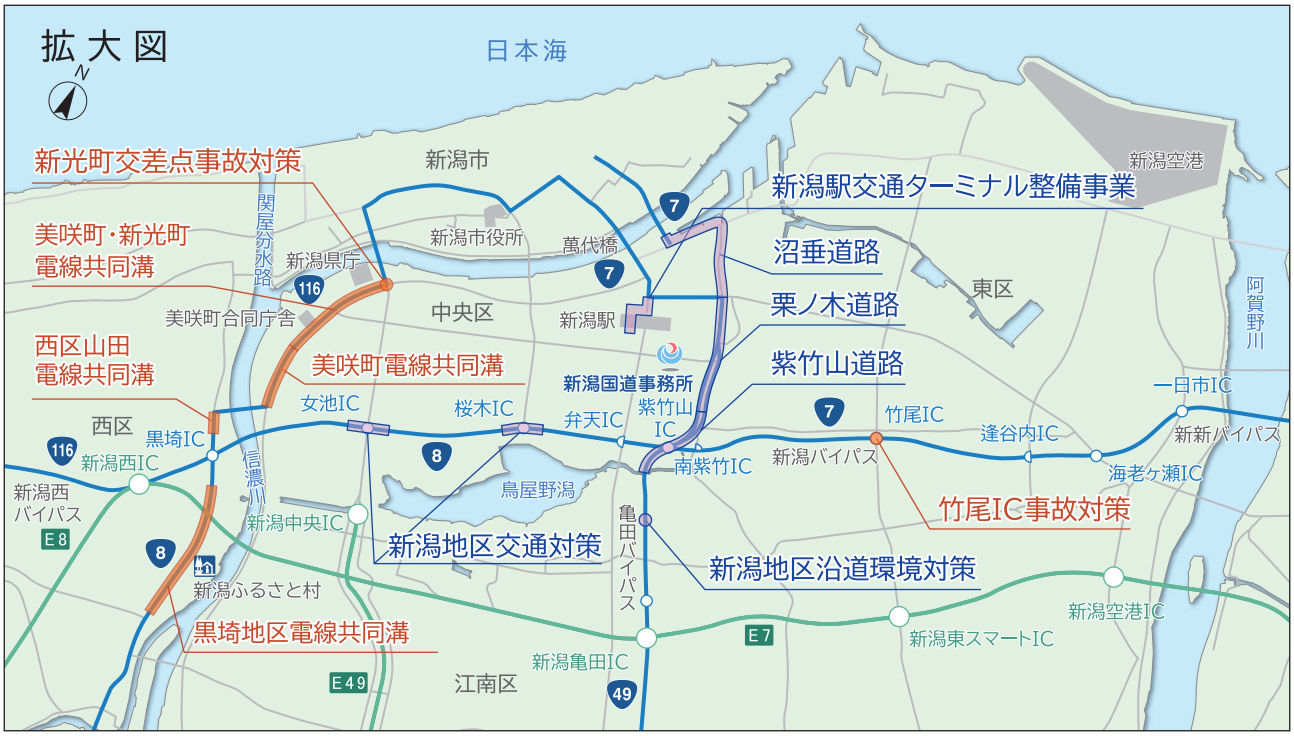
主要事業位置図

7 8 49 113 116

■路線別の管理延長　※R6.4.1現在

国道	管理区間	管理延長
7号	新潟市中央区本町通7番町 ～ 村上市坂町	53.757 km
8号	新潟市中央区紫竹山 ～ 三条市土場	38.777 km
49号	東蒲原郡阿賀町八ツ田（県境）～ 新潟市中央区紫竹山	78.010 km
113号	村上市坂町 ～ 岩船郡関川村大字金丸（県境）	25.845 km
116号	長岡市寺泊敦ヶ曽根 ～ 新潟市中央区本町通7番町	44.451 km
	計	240.840 km





暮らしを支える道をつくります 改築事業

将来のまちづくりに関わる大規模な道路等をつくります。

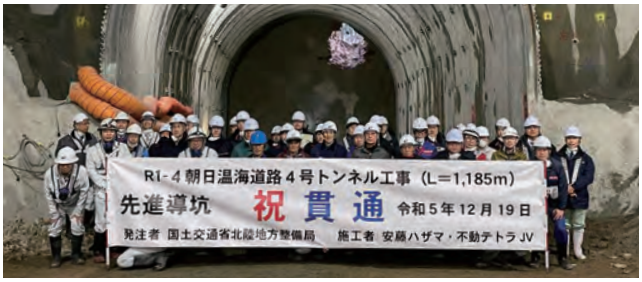
令和5年度のTOPICS

⑦ 朝日温海道路4号トンネル貫通！

詳しくはP6へ！

新潟県と山形県を結ぶ朝日温海道路事業において、(仮称)4号トンネル(延長1,185m)が、令和5年12月19日（火）に貫通しました。朝日温海道路で計画されている全21本のトンネルのうち、3本目のトンネル貫通となります。





貫通時の動画は新潟国道事務所の公式Youtubeチャンネルにて公開しています。

YouTube

⑦ 栗ノ木バイパスの高架化に向けて工事が進んでいます！

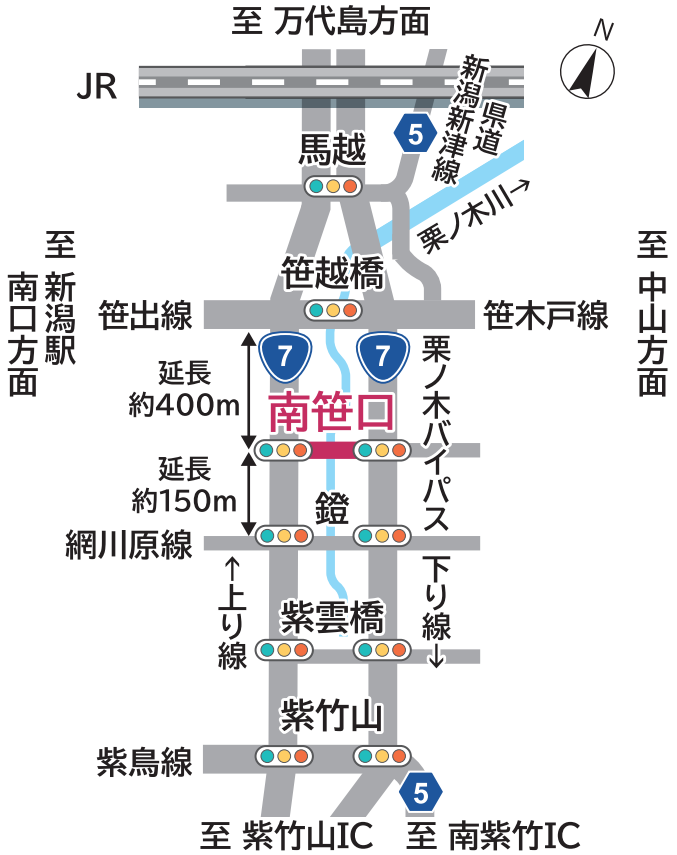
詳しくはP7へ！

国道7号栗ノ木バイパスでは、渋滞緩和、安全性向上などを目的として、立体道路(高架橋)の整備を行っています。令和5年度には、新たに10基の橋脚工事に着手・栗ノ木川の付替え工事が完了するなど、高架化に向けて工事が進んでいます。

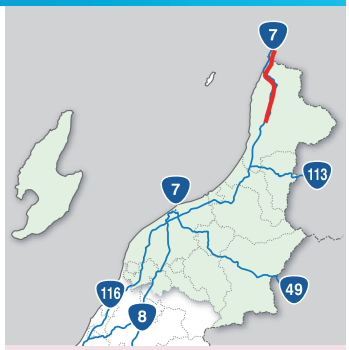
南笹口交差点が新設！

令和5年12月1日(金)に、栗ノ木バイパス笹越橋交差点～鐙交差点間(延長約550m)に「南笹口交差点」を新たに設置しました。





⑦ 朝日温海道路



最新情報はコチラ！

つなぎます。かわります。
日沿道 朝日温海道路

本年度の取組　（仮称）2号・4号・9号・11号トンネル工事、改良工事、橋梁工事等を推進します。

朝日温海道路は、高規格道路の日本海沿岸東北自動車道（日沿道）※の一部を構成し、朝日まほろばICからあつみ温泉ICの約40.8kmを結ぶ自動車専用道路です。

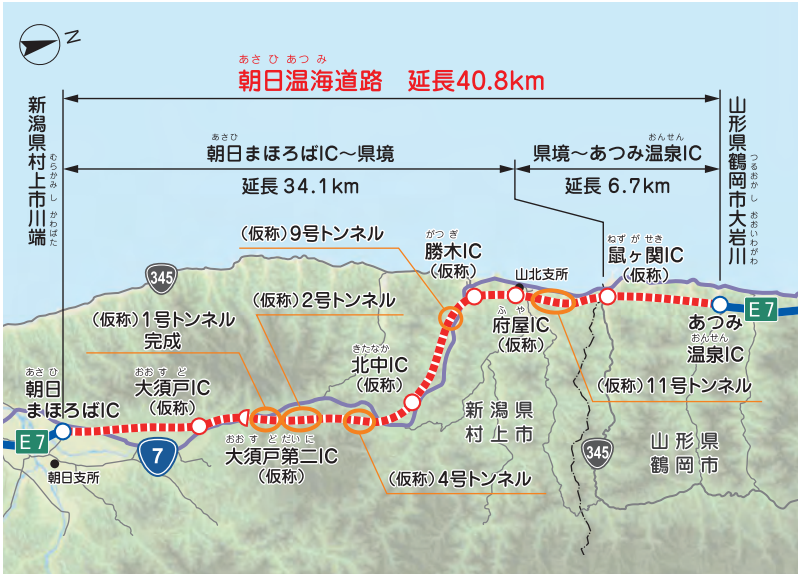
本事業は、災害時における広域的な緊急物資輸送の確保、救急医療施設への搬送時間の短縮、安定的な物流ルートの確保に資する道路ネットワークの強化などを目的としています。

※新潟県・山形県・秋田県の主要都市を結び青森県に至る延長約322km（新潟空港IC～青森IC）の自動車専用道路



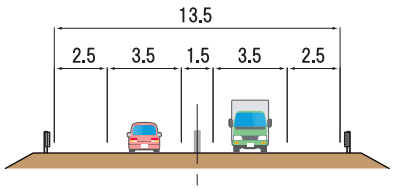
起点・終点	新潟県村上市川端～山形県鶴岡市大岩川	
延長	40.8km	
標準幅員	2.5-3.5-1.5-3.5-2.5（13.5m）	
構造規格	第１種第３級（設計速度80km/h）	
事業の経緯	平成25年度	事業化
	平成27年度	用地着手
	平成29年度	工事着手（(仮称)1号トンネル工事）
	令和２年度	(仮称)１号トンネル貫通
	令和５年度	(仮称)４号トンネル貫通

平面図

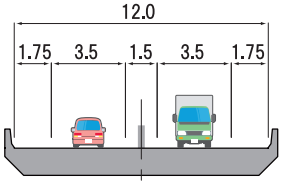


標準断面図（単位：m）

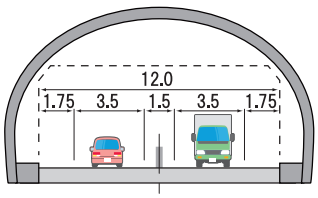
土工部



橋梁部



トンネル部



現場なう


猿沢地区の盛土工事


(仮称)2号トンネルの掘削工事

期待される整備効果

●走行性や時間信頼性の向上

山間部のカーブや勾配の変化が少なく、幅の広い道路になると、市街地への通勤や買物など、毎日の運転が快適になります。

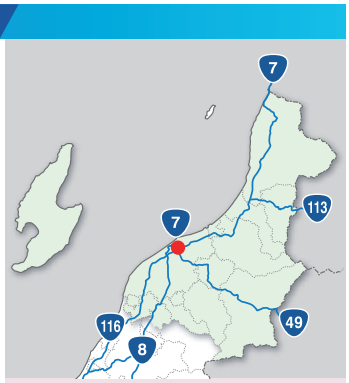
●観光・地域産業の活性化

高速道路ネットワークの形成によって観光周遊の選択肢が広がり、地域産業にとっては活性化の機会となります。

●災害に強い道路ネットワークの形成

国道７号の代替路となり、大雨や越波等の災害による通行止めリスクが解消された、災害や雪に強い安定した輸送ルートが確保されます。

⑦ 万代島（ばんだいじま）ルート線（沼垂（ぬったり）・栗ノ木（くりのき）・紫竹山（しちくやま）道路）



最新情報はコチラ！ 万代島ルート線 沼垂・栗ノ木・紫竹山道路

本年度の取組

沼垂道路：調査・設計を推進します。
栗ノ木・紫竹山道路：用地取得、道路改良工事、立体道路整備（高架橋下部工事、上部工事）を推進します。

万代島ルート線は、新潟バイパス紫竹山ICから中央区寄居町に至る全長約5.6kmの都市計画道路です。平成4年に都市計画決定され、高速道路や新潟バイパスといった東西方向を結ぶ道路と新潟市中心部を南北方向に結びます。

平成14年～平成26年に柳都大橋を含む1.5km区間が先行して開通し、現在、栗ノ木道路と紫竹山道路の区間で工事を進めています。

平面図



事業名	沼垂道路		栗ノ木道路		紫竹山道路	
起点・終点	新潟市中央区万代３丁目～同区沼垂東２丁目		新潟市中央区沼垂東2丁目～同区鐙		新潟市中央区鐙～同区紫竹山4丁目	
延長	1.6km		1.4km		0.7km	
幅員	高架部（片側）：1.25-7.0-0.5（8.75m）					
	地表部（片側）：5.0-3.0-2.0-6.5-0.5（17.0m）					
構造規格	高架部：第３種第１級（設計速度60km/h）					
	地表部：第４種第１級（設計速度50km/h）					
事業の経緯	令和４年度	事業化	平成19年度	事業化	平成23年度	事業化
			平成20年度	用地着手	平成24年度	用地着手
			平成24年度	工事着手	平成25年度	工事着手

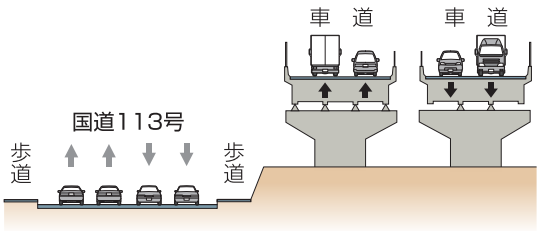
完成イメージ図



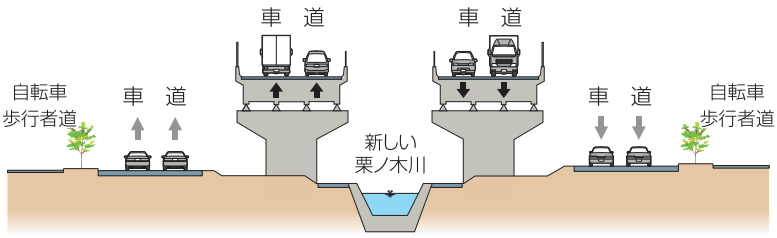


断面イメージ（立体道路区間）

例：国道113号（東港線）並行区間



例：笹越橋交差点～紫竹山交差点



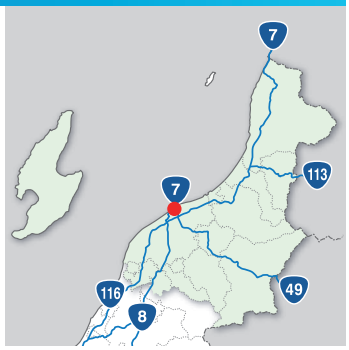
※立体道路：新潟バイパスのような道路のことを指します。

期待される整備効果

●交通渋滞の緩和・交通事故の削減
信号交差点をノンストップで通行できる立体道路の整備により、交通の流れがスムーズになり、交通事故の削減が期待されます。

●災害リスクの低減
JR交差部でも豪雨時の冠水による通行止めリスクが少ない道路になります。

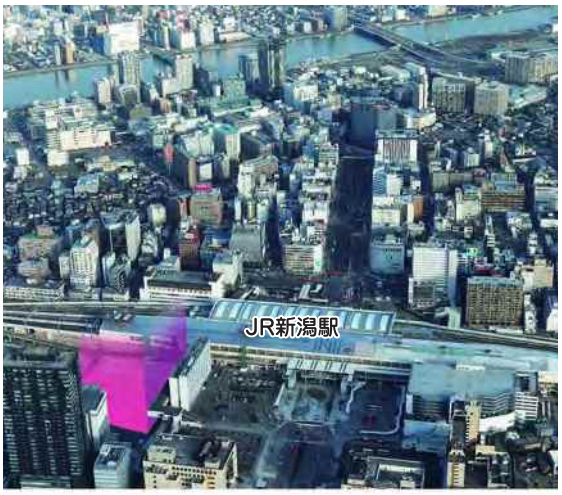
⑦ 新潟（にいがた）駅交通ターミナル整備事業



本年度の取組	調査・設計を推進します。

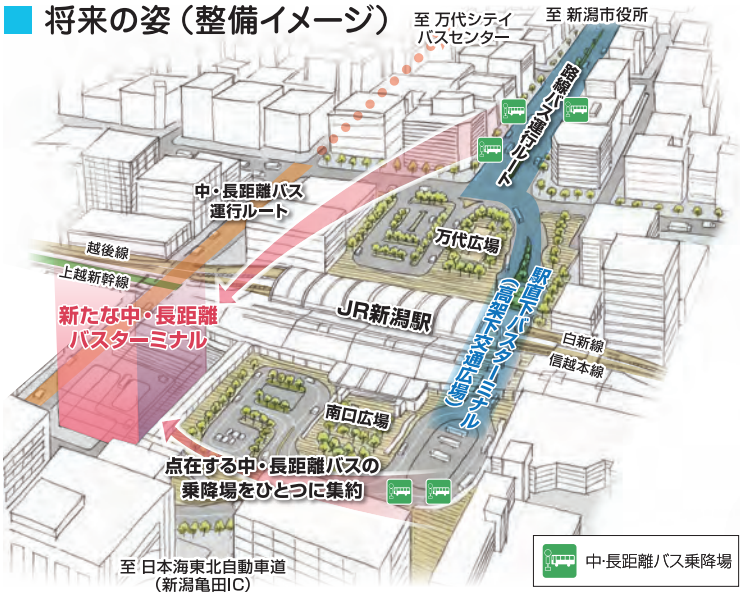
新潟駅交通ターミナル整備事業は、新潟の玄関口に相応しい広域交流ゲートウェイの創出に向けた「新潟駅周辺交通結節機能強化基本方針」（令和2年1月・新潟市）に基づき、国土交通省と新潟市が連携し、中・長距離バスターミナルを整備するものです。

本事業は、新潟駅周辺の「交通結節機能の強化」、「防災機能の強化」、「にぎわい創出」、「サービス機能の向上」を目的としています。



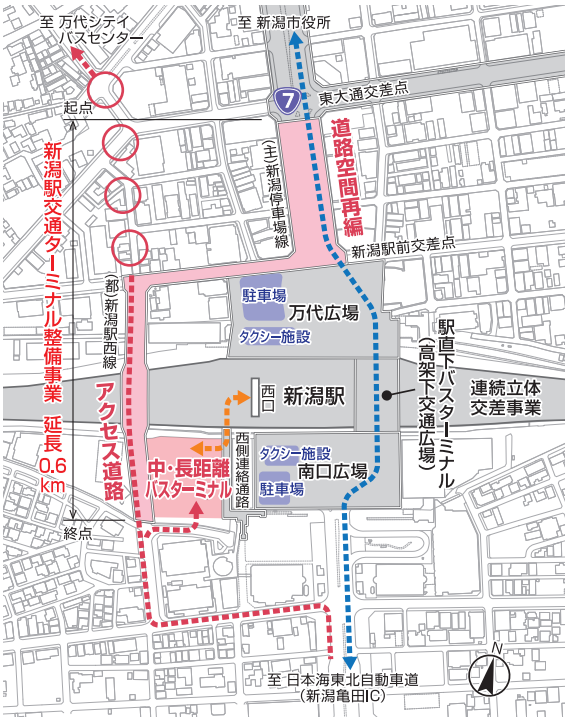
起点・終点	新潟市中央区東大通１丁目～同区花園１丁目	
延長	0.6km	
事業の経緯	令和２年度	事業化

将来の姿（整備イメージ）



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません

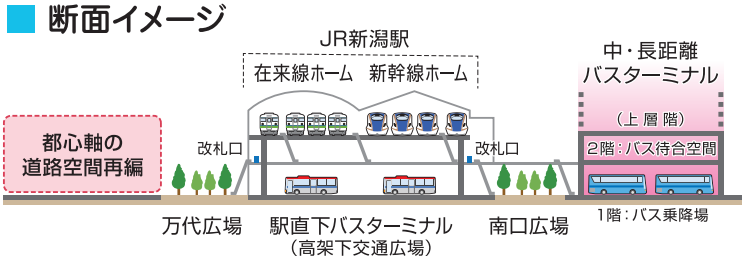
平面図



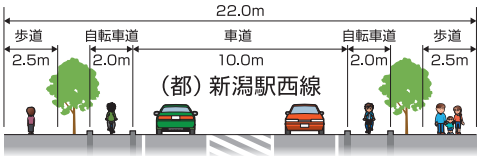
中・長距離バス動線
路線バス動線
駅から中・長距離バスターミナルの歩行者動線

※下図は国土地理院 基盤地図情報（基本項目）をもとに作成

断面イメージ



（アクセス道路）



期待される整備効果

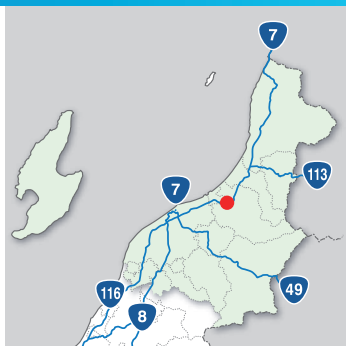
●中・長距離バス乗降場の分散解消と新潟駅周辺の交通円滑化

公共交通の乗換利便性やバス待ち環境の改善、中・長距離バスと路線バスの運行経路を分離することで慢性的な渋滞緩和が期待されます。

●新潟駅周辺のにぎわい空間創出と防災機能の強化

人・公共交通を優先した道路空間の形成により、広場と連携したにぎわい創出や災害時の帰宅困難者対策等への活用が期待されます。

⑦ 新発田拡幅（しばた）



本年度の取組　新発田市小舟町～同市城北町間の電線共同溝工事、新発田市城北町～同市緑町間の用地取得を推進します。

新発田拡幅は、国道７号の新新バイパス新発田ICから新発田市三日市に至る延長5.8kmを４車線化するものです。

本事業は、市街地部での慢性的な交通渋滞の緩和と、沿線地域の振興・活性化などを目的としています。

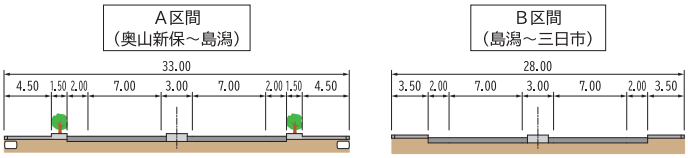


起点・終点	新発田市奥山新保～同市三日市	
延長	5.8km（A区間：4.2km、B区間：1.6km）	
幅員	A区間：4.5-1.5-2.0-7.0-3.0-7.0-2.0-1.5-4.5（33.0m）	
	B区間：3.5-2.0-7.0-3.0-7.0-2.0-3.5（28.0m）	
構造規格	A区間：第４種第１級（設計速度60km/h）	
	B区間：第３種第１級（設計速度80km/h）	
事業の経緯	平成３年度	事業化
	平成６年度	用地着手
	平成12年度	工事着手
	平成21年9月	舟入交差点～中曽根町交差点間の４車線開通
	平成28年3月	中曽根町交差点～小舟町交差点区間の４車線開通

平面図



標準断面図（単位：m）

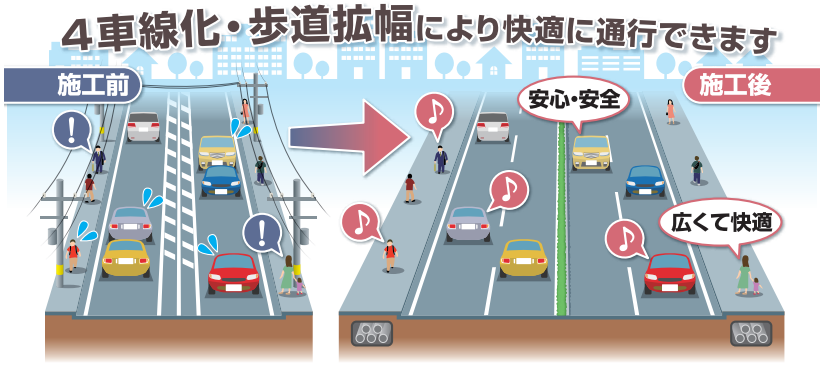


現在の道路状況



新発田市街地部の慢性的な交通渋滞

整備イメージ



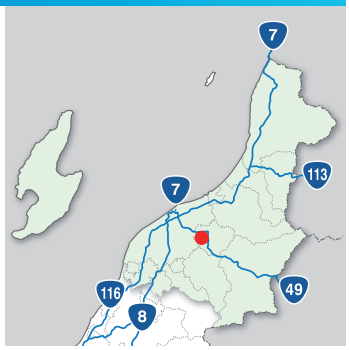
期待される整備効果

●交通渋滞の緩和・生活道路の安全性向上
円滑な走行環境が確保されることで、走行時間の短縮が見込まれ、歩道拡幅により歩行者の安全性確保が期待されます。

●第三次救急医療施設・主要観光施設へのアクセス向上
新潟県立新発田病院への迅速な救急搬送や地域の観光支援に寄与します。

●地域産業の活性化・まちづくり支援
地域産業の活性化・物流効率化による生産性向上に加え、新発田市が進めるまちづくりに寄与します。

49 水原（すいばら）バイパス（阿賀野（あがの）バイパス）



本年度の取組　阿賀野市寺社～同市百津間約2.7kmの早期開通に向けて改良工事、舗装工事等を推進します。

水原バイパスは、道路の幅員が狭いことで交通混雑や交通事故等が発生している阿賀野市街地を迂回し、阿賀野市寺社から同市下黒瀬に至る延長8.1kmの国道49号バイパスです。

本事業は、交通渋滞の緩和、交通事故の低減、広域ネットワークの機能強化などを目的としています。

令和７年内には阿賀野市寺社から百津までの延長2.7kmが開通し、暫定２車線で全線開通する予定です。

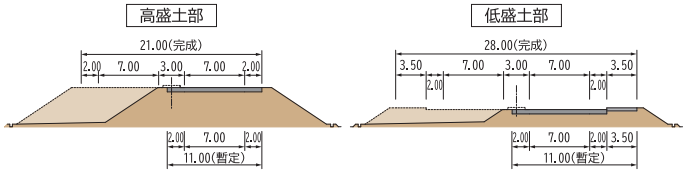


起点・終点	阿賀野市寺社～同市下黒瀬	
延長	8.1km	
幅員	高盛土部：2.0-7.0-3.0-7.0-2.0（21.0m）	
	低盛土部：3.5-2.0-7.0-3.0-7.0-2.0-3.5（28.0m）	
構造規格	第３種第１級（設計速度80km/h）	
事業の経緯	平成12年度	事業化
	平成15年度	用地着手
	平成17年度	工事着手
	令和4年度	百津～下黒瀬間部分開通

平面図



標準断面図（単位：m）



混雑状況の緩和（瓢湖入口交差点付近・朝ピーク）



令和４年の部分開通後は、国道４９号（現道）の交通が水原バイパスへ転換したことにより、中心市街地周辺道路の負荷が軽減しました。

期待される整備効果

●交通渋滞の緩和・生活道路の安全性向上

走行時間の短縮が見込まれ、歩行者の安全性確保や沿道地域の騒音低下が期待されます。

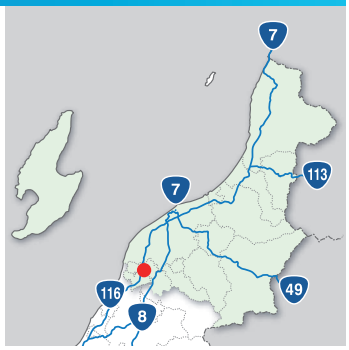
●防災機能の強化

阿賀野川氾濫時の緊急輸送道路としての機能向上に加え、第三次救急医療施設である新潟市民病院への緊急搬送時間の短縮が期待されます。

●地域産業の活性化・まちづくり支援

阿賀野市内の観光施設や、新潟県東部産業団地へのアクセス性が向上し、観光・交流・産業の活性化が期待されます。

116 吉田（よしだ）バイパス



本年度の取組　用地取得および調査・設計を推進します。

吉田バイパスは、日中を通して速度の低下や渋滞に起因した追突事故が多発している燕市街地を迂回及び道路拡幅し、燕市熊森から新潟市西蒲区高橋に至る延長11.5kmの国道116号バイパスです。

本事業は、慢性的な交通渋滞の緩和、安全な走行環境の確保、全国有数の金属加工産業といった地域の産業を支援することを目的としています。

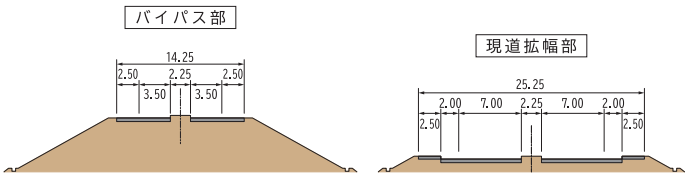


起点・終点	燕市熊森～新潟市西蒲区高橋	
延長	11.5km	
幅員	バイパス部：2.5-3.5-2.25-3.5-2.5（14.25m）	
	現道拡幅部：2.5-2.0-7.0-2.25-7.0-2.0-2.5（25.25m）	
構造規格	第３種第１級（設計速度80km/h）	
事業の経緯	令和２年度	事業化
	令和４年度	用地着手

平面図



標準断面図（単位：m）



現在の道路状況



吉田病院脇交差点付近の渋滞



西太田交差点付近の渋滞

期待される整備効果

●走行時間の短縮

当該区間を通過する交通は、市街地部における渋滞箇所を回避することができ、走行時間の短縮が見込まれます。

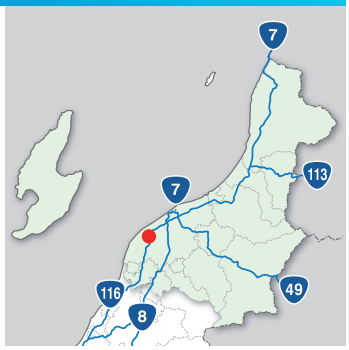
●現道環境の改善

当該区間の渋滞緩和と交通事故の減少に加え、物流を担う大型車交通が転換することによる交通騒音の低下が期待されます。

●地域産業の支援

燕市内の工業団地における輸送時間や通勤時間の短縮など、地域産業の発展を支援します。

116 新潟西道路（にいがたにし）



本年度の取組　用地取得および調査・設計を推進します。

新潟西道路は、新潟都市圏を東西に横断する高規格道路「新潟東西道路」（全長約40km）の一部を構成し、新潟市西区明田から国道116号 新潟西バイパス曽和交差点に接続する4.2kmのバイパスです。

本事業は、慢性的な交通渋滞の緩和、信頼性の高い道路ネットワークの構築、沿線地域の安全性向上及び物流効率化による地域産業の支援を目的としています。

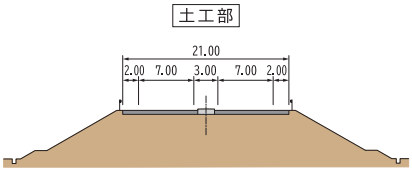


起点・終点	新潟市西区明田～同区曽和	
延長	4.2km	
幅員	土工部　：2.0-7.0-3.0-7.0-2.0（21.0m）	
	橋梁部（片側）：1.25-7.0-0.5（8.75m）	
構造規格	第３種第１級（設計速度80km/h）	
事業の経緯	平成31年度	事業化
	令和３年度	用地着手

平面図



標準断面図（単位：m）



現在の道路状況



田島交差点付近の慢性的な交通渋滞



通学路を通過する車両

期待される整備効果

●渋滞の緩和
４車線化かつ主要交差点の立体化により、慢性的な渋滞が緩和し、スムーズな走行が可能となります。

●安全な走行環境の確保
交差点の前後で渋滞に起因した追突事故の減少が期待されます。

●生活道路の安全性向上
周辺の生活道路への抜け道利用が減少し、沿線地域の安全性向上が期待されます。

より安全で便利な道になおします 交通安全事業等

交通事故や渋滞が発生する原因を調べて、交差点やICを改良したり、自転車や歩行者にも使いやすい道路になおします。

令和6年度の
TOPICS

事故ゼロプランにご協力ください
（事故危険区間重点解消作戦）

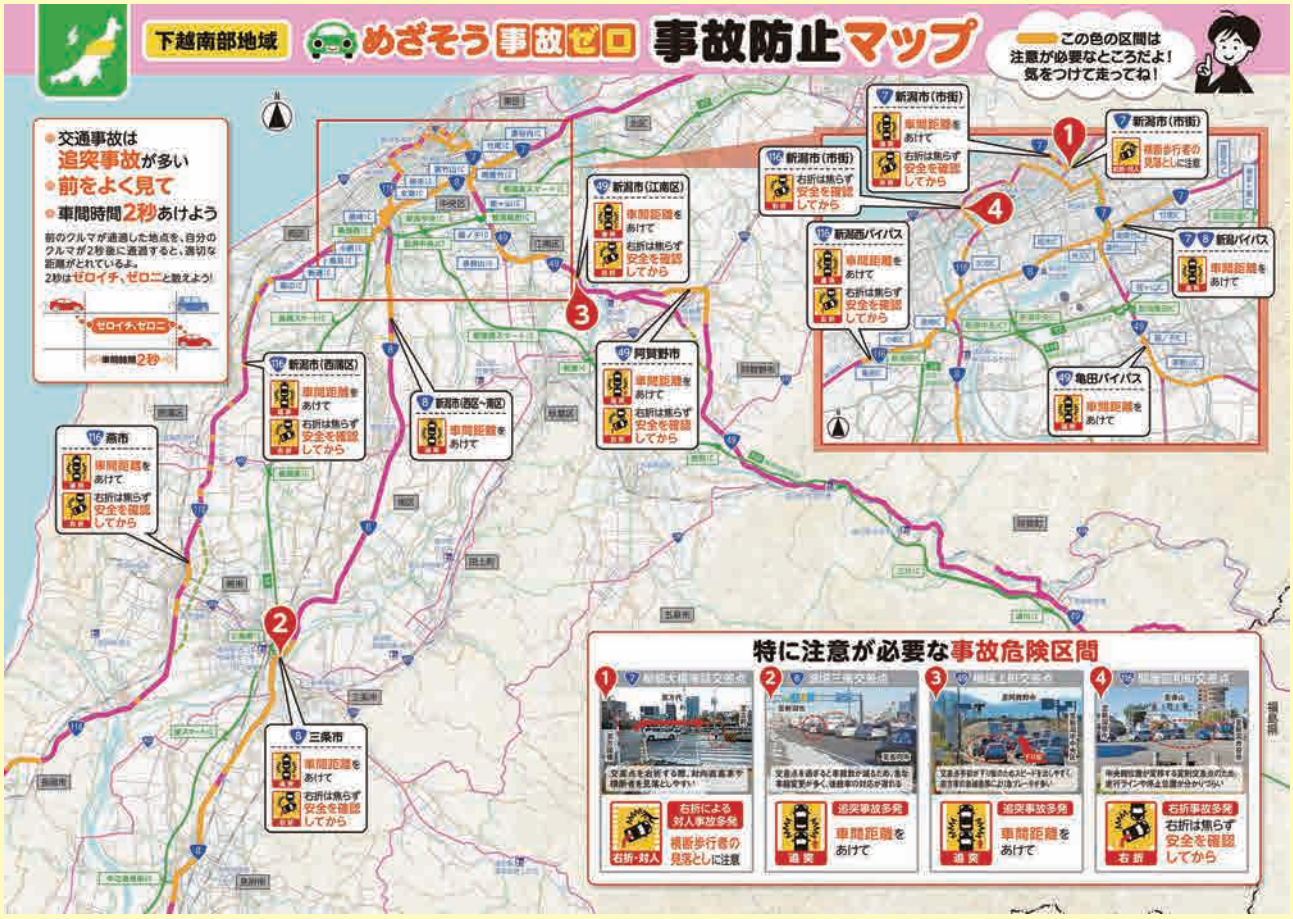
安全安心な道路環境を実現するため、事故データや地域の声に基づき事故の危険性が高い区間を「事故危険区間」として選定し、重点的・集中的に事故対策を進める『事故ゼロプラン』の取り組みを行っています。

新潟県内の直轄国道を対象に、全 161 区間（令和 6 年 4 月現在）の事故危険区間について順次対策の検討を進めています。

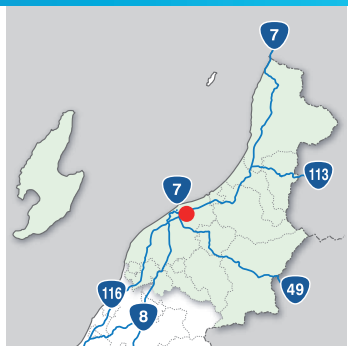


**「事故危険区間」を見て、チェックして、
他にも「危ない」場所を教えて下さい。**

- **見て**：事故データ、地域の声に基づき、現在選定されている「事故危険区間」を見てください。
- **チェックして**：「事故危険区間」をチェックしてください。事故危険区間を通るときは注意しましょう。
- **教えて**：他に「危ない」と思う場所を教えてください。



⑦ 竹尾（たけお）ＩＣ事故対策



本年度の取組　工事を行います。

交通量が非常に多い国道7号 新潟バイパス竹尾ICでは、ランプ部における無理な合流による事故や、バイパス本線に及ぶ滞留による追突事故が多発しています。

本事業は、加速合流車線設置による合流を円滑にする対策や、右折滞留長延伸による直進車両阻害を低減する対策を行います。



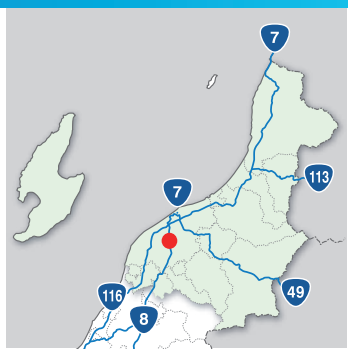


起点・終点	新潟市東区竹尾	
事業の経緯	令和２年度	事業化
	令和４年度	用地着手
	令和５年度	工事着手





⑧ 大通西（おおどおりにし）交差点改良



本年度の取組　調査・設計、用地買収を行います。

大野大橋の南側に位置する大通西交差点周辺は、信号交差点が連続した区間で沿道店舗への出入車両も多いため、本線での速度低下や追突事故が多発しています。

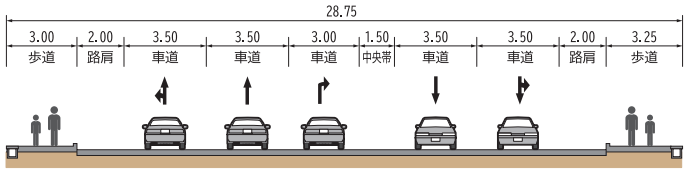
本事業では、連続する交差点の改良及び付加車線設置による追突事故防止の対策を行います。



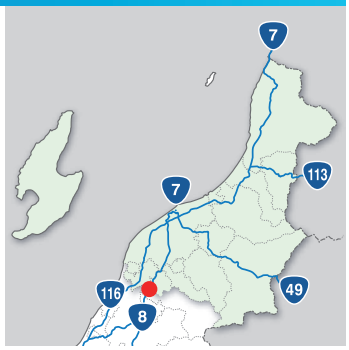


起点・終点	新潟市南区大通～大通南	
事業の経緯	平成28年度	事業化
	令和２年度	用地着手

標準断面図（単位：m）



8 下須頃（しもすごろ）地区事故対策



本年度の取組 調査・設計、工事を行います。

北陸自動車道 三条燕ＩＣへのアクセス道路と交差する須頃（三）南交差点周辺では、交差点前後で車線数が変化するため、急な車線変更や急減速・停止、無理な交差点進入による事故が多発しています。

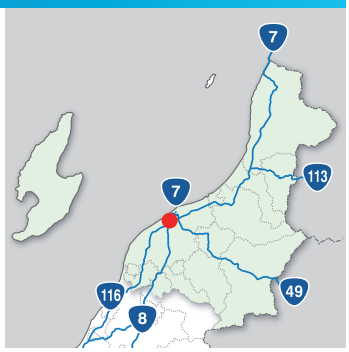
本事業では、連続する交差点の改良と付加車線の設置による追突事故防止対策を行います。





起点・終点	三条市下須頃	
事業の経緯	平成28年度	事業化

116 新光町（しんこうちょう）交差点事故対策



本年度の取組 調査・設計、工事を行います。

新潟県庁に隣接し、磐越自動車道 新潟中央ICにアクセスする交通が多い新光町交差点では、千歳大橋からの下り勾配の影響で速度超過を誘発しやすく、また左折車両の混雑で追突事故が多発しており、事故危険区間に登録されています。

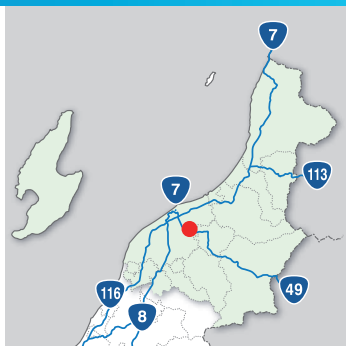
本事業では、左折付加車線延伸等の交差点改良を行い、安全な交通環境を確保します。





起点・終点	新潟市中央区新光町	
事業の経緯	令和4年度	事業化

49 横越（よこごし）地区事故対策



本年度の取組　調査・設計、工事を行います。

国道49号横雲バイパスの横越地区では、交通渋滞の多発や交差点に向かう下り坂の影響で速度超過や急ブレーキを誘発しやすく、追突事故が多発しています。

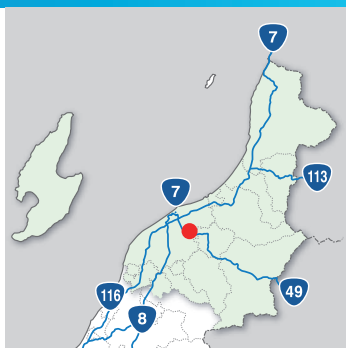
本事業では、今後交通量の増加が想定される新潟中央環状道路（新潟市が整備中）と国道49号が交差する箇所を立体化することで、安全な交通環境を確保します。





起点・終点	新潟市江南区横越～同区袋津	
事業の経緯	令和３年度	事業化
	令和４年度	工事着手

49 横越上町（よこごしかみちょう）交差点事故対策



本年度の取組　調査・設計を行います。

国道49号横雲バイパスの横越上町交差点では、交通渋滞の多発や交差点に向かう下り坂の影響で速度超過や急ブレーキを誘発しやすく、追突事故が多発しています。

本事業では、交差点部を立体化することで、安全な交通環境を確保します。





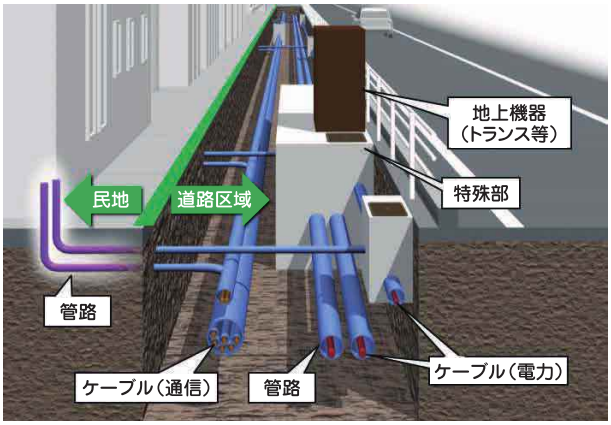
起点・終点	新潟市江南区横越	
事業の経緯	令和５年度	事業化

電線共同溝の整備推進

現在、「無電柱化推進計画」に沿って、無電柱化を進めています。

無電柱化は、大規模な商業地域の街の顔になるような通りに加え、近年の社会ニーズの多様化から、中規模商業系地域や住居系地域、主要な非幹線道路、歴史的街並みの保全、観光振興、地域文化の復興、地域活性等に資する箇所を対象に整備を実施しています。

電線共同溝（イメージ）



無電柱化の目的

景観・観光



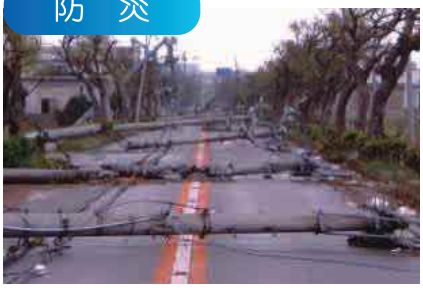
景観の阻害要因となる電柱・電線をなくし、良好な景観を形成します。

安全・快適



無電柱化により歩道の有効幅員を広げることで、通行空間の安全性・快適性を確保します。

防　災



大規模災害（地震、竜巻、台風等）が起きた際に、電柱等が倒壊することによる道路の寸断を防止します。

8 南区根岸（みなみくねぎし）電線共同溝

本年度の取組　調査・設計、支障移転



起点・終点	新潟市南区高井東三丁目～根岸	
延長	2.2km（上下）	
事業の経緯	平成30年度	事業化
	令和４年度	本体工事着手



116 西区山田（にしくやまだ）電線共同溝

本年度の取組　調査・設計、支障移転、本体工事



起点・終点	新潟市西区山田	
延長	0.5km（上下）	
事業の経緯	平成30年度	事業化
	令和５年度	本体工事着手



24時間365日、道路を守ります

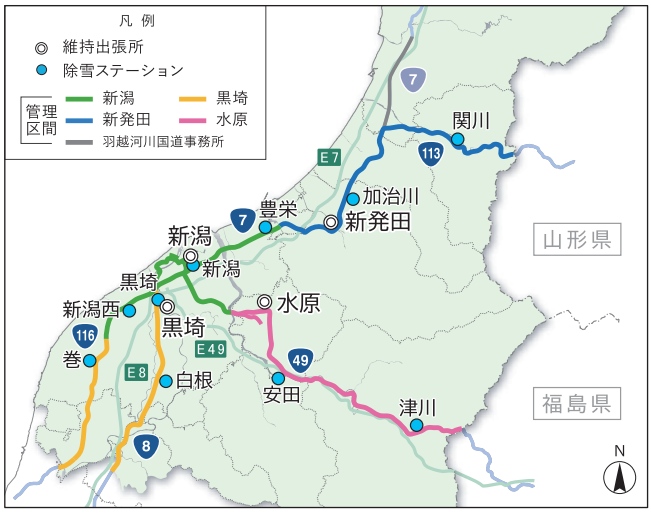
道路をいつも良好な状態に保つよう日常の管理、定期的なインフラメンテナンス、冬期道路交通を確保するための除雪等を行っています。

日常の管理

24時間365日、道路の異常が無いか監視し、異常が見つかった場合は応急作業を行うほか、道路利用者や関係機関に道路情報を発信し、安全で円滑な道路交通を確保します。

監視・情報管理





管理施設量

施　設	国道7号	国道8号	国道49号	国道113号	国道116号	計
橋　梁（）溝橋含む	112橋（209橋）	56橋（101橋）	86橋（146橋）	36橋（43橋）	84橋（142橋）	374橋（641橋）
トンネル			6カ所	4カ所		10カ所
洞　門			22カ所			22カ所

管理延長（単位：km）

維持出張所	国道7号	国道8号	国道49号	国道113号	国道116号	計
新潟維持出張所	21.862	5.826	10.892		19.718	58.298
新発田維持出張所	31.895			25.845		57.740
黒埼維持出張所		32.951			24.733	57.684
水原維持出張所			67.118			67.118
合　計	53.757	38.777	78.010	25.845	44.451	240.840

道路における震災対策（橋梁の耐震補強）

災害時の救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、橋梁の耐震補強（大規模な地震時でも軽微な損傷に留まり、速やかな機能回復が可能となる対策）を実施しています。

国道8号新潟バイパス「新潟大橋」補強前後

補強前



補強中

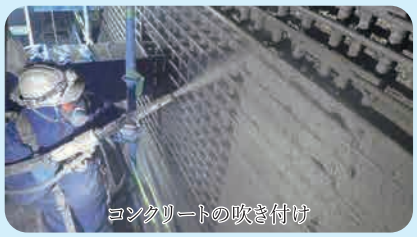


補強後



耐震補強工事の様子　既存の橋脚を新たな鉄筋コンクリートで包み込み、橋の安全性を高めます


補強鉄筋の組立


コンクリートの吹き付け


コンクリートの仕上げ

TOPICS　近年の災害に対する取り組み

■令和4年8月豪雨／国道113号の復旧

令和4年8月3日夜から新潟県下越地方に発生した線状降水帯による記録的大雨により、国道113号では広範囲で道路流出や土砂・流木の堆積等が発生し、村上市花立地先では通行止めが約62時間続きました。

新潟国道事務所では、8月4日から道路啓開を開始し、9月28日には応急復旧工事が完了、通行規制を解除しました。

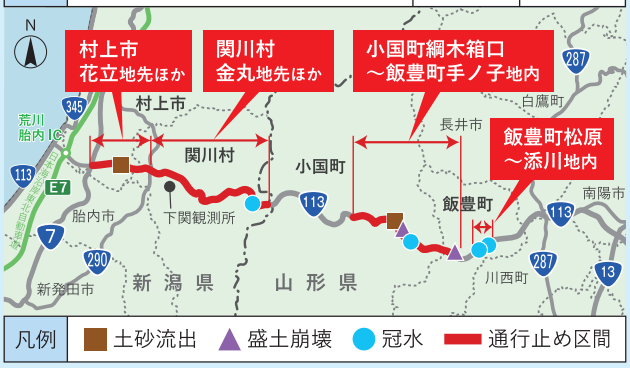
安全な道路通行を確保するため、関係機関と連携しながら本復旧を進めています。



国道113号関川村花立地先の被災直後と復旧状況

＜国道113号の通行止め区間と時間＞

	通行止め区間	延　長	通行止め時間
新潟県	村上市花立（はなだて）地先ほか （村上市十文字交差点～高田橋入口交差点）	約8km	**62時間**
新潟県	関川村金丸（かなまる）地先ほか （関川村大島地先～山形県境）	約18km	21時間
山形県	小国町綱木箱口（つなぎはこのくち）～飯豊町手ノ子（てのこ）地内	約12km	53時間
山形県	飯豊町松原（まつばら）～添川（そえがわ）地内	約2km	14時間



＜雨量＞

24時間雨量　：560mm（8/3・6:10～8/4・6:10）

時間最大雨量：149mm（8/4・1:03～2:03）

※観測所：下関観測所（気象庁）

■令和6年能登半島地震／TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を石川県に派遣

令和6年1月1日に発生した石川県能登地方における最大震度7の地震に伴い、石川県内ではのと里山海道や能越自動車道をはじめとした多くの道路で通行止め等の交通規制が発生しました。

新潟国道事務所では、1月3日から道路調査班、機械班、道路啓開作業の監督業務のためのTEC-FORCEを延べ28名（令和6年3月末時点）派遣し、被災地支援を行いました。



被災地への備蓄飲料水・非常食の配送



道路調査班の出発式（1/3）



道路啓開状況（国道249号）

インフラメンテナンス（点検・修繕）

安全・安心な道路を次世代へと継承するため、道路施設の定期点検を実施し適切な対策を講じるインフラメンテナンスを推進します。施設に不具合が生じてから対策を行う「事後保全」から、施設に不具合が生じる前に対策を行う「予防保全」への転換を図り、ライフサイクルコストの低減や効率的かつ持続可能な維持管理の実現に向け取り組みます。



橋梁点検



附属物点検



トンネル点検



橋梁補修



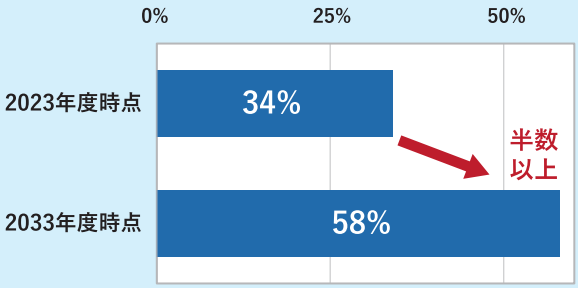
舗装修繕



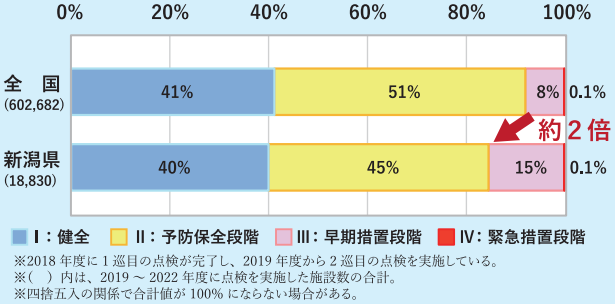
TOPICS　新潟県と全国のインフラ老朽化比較

全国と同様に新潟県内の道路インフラは高度経済成長期につくられたものが多く、建設後50年を経過した割合は2033年度に58%にのぼる見込みです。また、早期措置が必要な判定区分III以上の割合は年々着実に減少していますが、依然として全国の2倍となっています。

■建設後50年を経過した橋梁の割合（新潟県）



■橋梁の判定区分の割合（全道路管理者合計）



※2018 年度に 1 巡目の点検が完了し、2019 年度から 2 巡目の点検を実施している。
※（　）内は、2019 ～ 2022 年度に点検を実施した施設数の合計。
※四捨五入の関係で合計値が 100% にならない場合がある。

冬期道路交通の確保

安全で円滑な冬期道路交通の確保を図り、大規模な通行止めや滞留・立ち往生が生じないようにするため、２４時間体制で除雪等を行います。

凍結防止



凍結防止剤を散布して路面の凍結を防ぎます。

新雪除雪



積もった新雪を路肩へ寄せます。

運搬排雪



路肩にたまった雪を雪捨て場へ運び出します。

雪庇(せっぴ)処理



落雪の危険がある雪のかたまりを取り除きます。

歩道除雪



通学や通勤の歩行者の通路を確保します。

ロードヒーティング



雪を解かし、歩きやすい歩道を確保します。

近年の国土交通省の取り組み

大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換

国土交通省では、「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」を目標とし、道路利用者の行動変容を促すために、関係機関と連携し、企業や学校等をはじめ地域住民等に対して適切な情報提供を行っています。これからは、大雪が予想される場合には、予防的な行動で備えるようご協力お願いします。

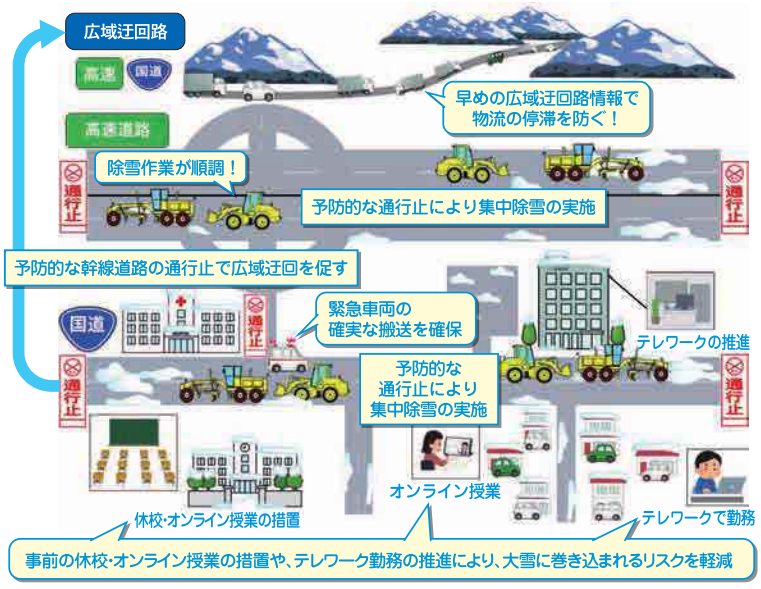
「これまで」のイメージ

大雪時にも平時の行動で地域に混乱



国道8号 柏崎市青海川地先（R4.12.19 撮影）

「これから」のイメージ　大雪時には予防的な行動で備える



〈行動変容のための取り組み例〉
- 道路管理者：除雪や道路状況の広報
- 自治体：住民への出控え要請
- 学校：休校やオンライン授業
- 企業：テレワーク勤務
- 物流：広域迂回、配達時間の変更等（荷主への理解・協力）



除雪車3台が梯団走行で集中除雪
国道116号 新潟市西区高山地先（R5.12.22 撮影）

みなさんと一緒に地域を盛り上げます

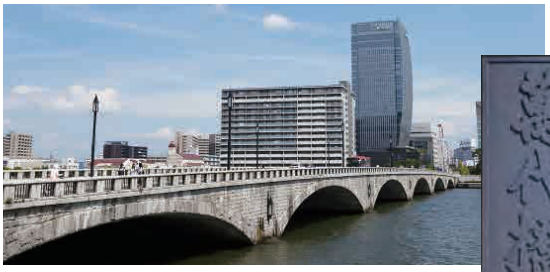
地域と連携しながら、交流によるにぎわいづくりの場となる道路空間を提供したり、道路愛護につながる取り組みを支援していきます。

⑦ 萬代橋（ばんだいばし）（国指定重要文化財）

萬代橋は新潟市中央区の都心部に位置し、信濃川河口より約3.5㎞上流に位置する国道７号の道路橋です。明治19年の架橋以来、時代と共に新潟市の発展に貢献してきました。

現在の三代目萬代橋は、平成16年7月6日に国道に架かる橋としては、国道１号の日本橋に次いで２例目となる国の重要文化財に指定された、「用・強・美」を兼ね備えた日本の名橋です。

令和6年8月23日で95歳になります。



三代目萬代橋（昭和4年8月～現在）
橋長／306.9m、幅員／ 22.0m



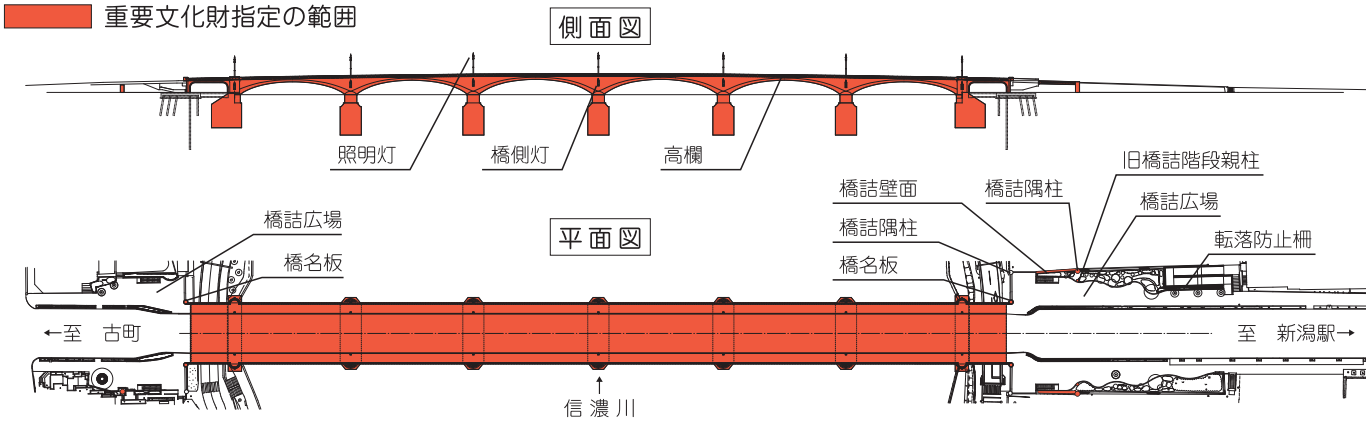
橋名板

■ 萬代橋の特徴

用：1日約２万台の自動車交通量を支える大動脈
強：関東大震災の復興技術が活かされ、新潟地震にも耐えた強さ
美：安定感と軽快感を両立する６連アーチと、御影石の化粧張りの美しさ

■ 重要文化財指定の理由

① 橋のデザイン史上での価値が高い
② 技術的達成度を示す遺構として貴重



■ 萬代橋を舞台にした取り組み



萬代橋チューリップフェスティバル
（４月中旬～下旬）



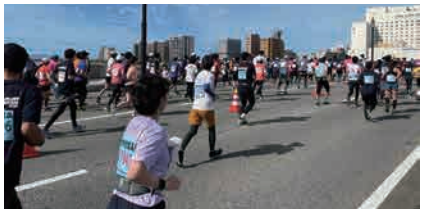
萬代橋みがき（R5.7.18）
※市民団体を含む総勢約80名が参加



新潟まつり・大民謡流し
（８月）



萬代橋誕生祭
（R5.8.26）



新潟シティマラソン
（10月）

特設WEBサイト
「萬代橋」はこちら！

ボランティア・サポート・プログラム（VSP）

住んでいるところをきれいにしたい！という地域や企業の方々の気持ちに応える道路の美化・清掃プログラムです。実施団体（ボランティア）・道路管理者・協力者の３者間で協定を結び、道路の美化活動を行っています。

国道	実施団体数
7号	25
8号	29
49号	4
113号	3
116号	13
計	71

（R6.4.1現在）※2団体が路線重複



道路の美化活動の様子



国道116号・燕市吉田鴻巣地先
（鴻ノ巣花の友の会）



国道7号・胎内市羽黒地先
「羽黒地下横断歩道」
（羽黒クラブ）



国道49号・阿賀野市保田地先
（株式会社帆苅組）

まちづくりに関する動き

新潟都心のまちづくり「にいがた2km」

にいがた2km 未来を語るシンポジウム

主催／新潟市、新潟国道事務所

新潟市民プラザを会場に『センシュアス・シティ都市の本当の魅力を測る』と題した基調講演をはじめ、学生・社会人計4チームによるワークショップ成果を紹介するパネルディスカッション、新潟市長と北陸地方整備局長によるトークセッションなどを実施し、未来の新潟市のために今どんな種が蒔けるのかを様々な視点で語り合いました。



シンポジウムの詳細はこちら▶
https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/pickup/niigata2km_streetvision/symposium/index.html



にいがた2kmみらいトーク
ワークショップ成果



開催案内チラシ

道路情報の発信

道路を利用される皆様に向けて、運転に役立つ情報や、道路に関する様々な取り組みを発信しています。

ホームページ みちナビ新潟

道路事業に関する情報をはじめ、工事による通行規制情報、道路情報板やライブカメラなどの情報を提供しています。



特設サイト ゆきみちポータル

各機関が提供する新潟都市圏の気象情報、道路交通情報、公共交通情報などを簡単に素早くアクセスできるポータルサイトを公開しています。

便利なWebサイトをひとまとめ！
https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/yukimichi/



SNSなど

新潟国道事務所管内の道路情報や防災情報、イベント情報を、公式X「みちナビにいがた」などを通じていち早くお知らせしています。

新潟国道事務所 公式 X
みちナビ にいがた

2.1万フォロワー突破！

YouTube
新潟国道事務所公式チャンネル



マンガで知る 新潟バイパス



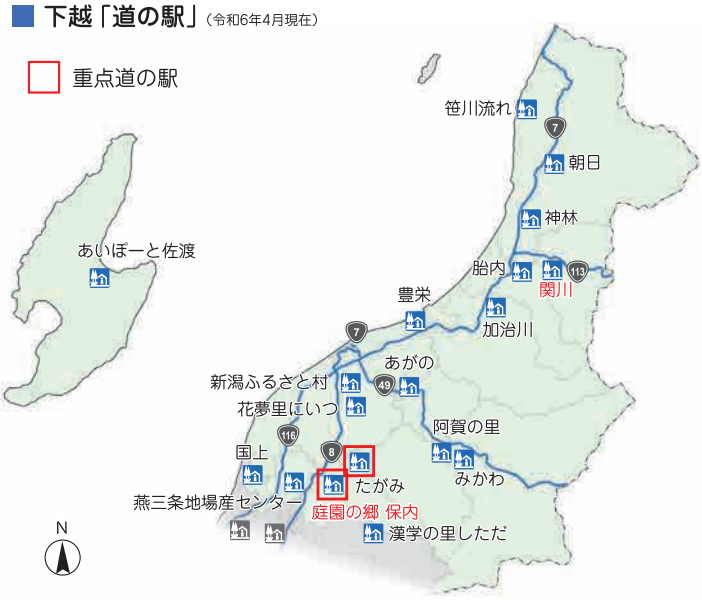
新潟バイパスの過去・現在・未来を全10話のマンガで分かりやすく紹介。にいこく先生がズバリ答えます！

道の駅

新潟県内では現在42箇所の道の駅が登録されており、誰もが休憩したり、様々な情報を得られる個性豊かなにぎわいの場となっています。

北陸「道の駅」

下越「道の駅」（令和6年4月現在）



道の駅「庭園の郷保内」

令和5年7月23日イベント開催「あつまれ!!はたらくクルマ」



道路パトロールカーの展示・乗車体験



新潟県三条市下保内4035
TEL 0256-38-7276
https://honai-gardens.com/

道の駅「関川」

令和５年８月27日大規模遊具新設



新たに91台分の駐車場がオープン！





新潟県岩船郡関川村上関1252-1
TEL 0254-64-0252
https://www.sekikawamura.org/road-st-sekikawa

TOPICS　誰もが使いやすいトイレを目指して

新たに誕生した道の駅やリニューアルオープンした道の駅のトイレは、施設のバリアフリーに向けて、洋式トイレ化はもちろん、多機能トイレやオストメイト対応トイレ、手洗い場の非接触化の「ポストコロナ対応」などを進めています。



道の駅「加治川」のトイレ外観



道の駅「あがの」のオストメイト対応トイレ

管　内　図

道路の異常を発見したら

道路緊急ダイヤル #9910

[全国共通・24時間受付無料]

国土交通省 北陸地方整備局

新潟国道事務所

〒950-0912 新潟市中央区南笹口2丁目1番65号
TEL.025-244-2159(代)　FAX.025-246-7832
https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/

新潟維持出張所	〒950-0914 新潟市東区紫竹山3-12-2 TEL.025-244-3483　FAX.025-245-5764
新発田維持出張所	〒957-0011 新発田市島潟665 TEL.0254-26-0337　FAX.0254-26-1873
黒埼維持出張所	〒950-1102 新潟市西区善久1072 TEL.025-377-2370　FAX.025-377-5981
水原維持出張所	〒959-2003 阿賀野市安野町10-5 TEL.0250-62-3100　FAX.0250-62-1443
村上出張所	〒958-0268 村上市小川1313-1 TEL.0254-52-7121　FAX.0254-52-7122



表紙写真：国道７号萬代橋（新潟市）

令和6年4月作成